



Service Above Self — They Profit Most Who Serve Best
Rotary International District 2660

2009年9月28日

国際ロータリー第2660地区
各ロータリークラブ 理事 各位

地区国際奉仕・WCS委員会
委員長 戸田和孝

① カンボジアプロジェクトの実施内容について

国際奉仕・WCS委員会におきまして、2009～2010年度カンボジアプロジェクトの概要が決まりましたので、添付資料と共に下記にご案内いたします。理事会でご審議ください。

記

1、プロジェクト実施国： カンボジア

2、目標金額： 48,036 US\$

(※目標金額に達しなかった場合は、集まった金額の範囲内でプロジェクトを行います。)

3、事業の内容：カンボジア僻村における医療機関への援助。

詳細は8月号ニュースレターを、購入器具リストは添付資料をご参照下さい。

4、プロジェクト決定への経緯

カンボジアで奉仕活動をしている西口三千恵さん(元ロータリー財団国際親善奨学生)の視察要請に応じて、地区国際奉仕・WCS委員会のメンバーが現地視察を行った結果、地区委員会と地区内クラブとの合同事業としてカンボジアプロジェクトに取り組むことを決定しました。地区委員会は地区WCS基金から10,000ドルの拠出を決定した上で、ニュースレターを通じて協力クラブを募っています。

今年度のWCS活動を検討中のクラブにおかれましては、地区および地区内各クラブと協働してこのプロジェクトを遂行するというのも、有意義な奉仕活動かと思えます。

拠出金は、会員数×5000円が目安ですが、クラブの裁量に任せます。

10月末日が地区への申し出の締め切りとなっておりますので、期限に間に合うように理事会でおはかり頂きたく御願い申し上げます。

5、プロジェクトチームが担う事業への協力と役割

① 集まった資金で現地が必要とする医療器材を購入し、効果的な援助を行う。

② 然るべき時期に、地区委員会と参加クラブ担当者が現地を視察し、プロジェクトが正しく行われているかどうか確認する。

③ 資金の流れを正しく把握し、会計報告を作成した上で、事業の広報をする。

注：地区WCS基金とは、各クラブがクラブ奉仕や親睦のみに偏らず、平等に国際奉仕活動に取り組み、負担することを促す為に考えられたシステムです。その年、国際奉仕・WCS事業を実施しなかったクラブは、年度末に会員数×5000円を、地区WCS基金に振込むように要請されます。それを地区委員会が協議し、ガバナーの承認を得て、活用するシステムになっています。今年度繰越金は2,235,758円ですが、ここから10,000ドルをカンボジアプロジェクトに拠出します。